

2025年3月5日発行

アグリ筑西 2025年 春号

いよいよ春本番です。新年度もよろしくお願いいたします。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
発行

電話番号：0296(24)9206
FAX：0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス！↑

シリーズ「農業経営者に訊く」 Vol.9

あわの としひろ
栗野果樹園 代表 栗野 寿広 さん(下妻市) (経営品目： ナシ+水稻)



栗野氏(右から2番目)と雇用就農者・研修生

第26回全国果樹技術・経営コンクール表彰式



都内でのコンクール表彰式

栗野さんは、ナシ4.1haの大規模経営を実践しています。離農園地の集積や新植による面積拡大、常時雇用労力の導入(9年前～)、研修生受入(2年前～)による労力確保によって、規模拡大を実現してきました。

下妻市果樹組合連合会に所属し、同青年部長を務めています。「下妻甘熟梨」や「梨のリキュール」の商品開発の先頭に立ち、技術面では、ジョイント栽培(右下写真)を1.1ha導入し、高樹齢園の改植による単収向上、省力化につなげています。これらの実績が認められ、今年度の第26回全国果樹技術・経営コンクールで、農林水産大臣賞を受賞しました(左写真)。

Q. 規模拡大の理由は？

A. 「強い産地を維持するためです。部会員が減る中、誰かが規模拡大して面積を維持し、新規参入者を受け入れて独立させる必要があります。所得等を考えると、家族経営で最大限の単収を確保することが最善かもしれませんが、それだけでは産地は守れないと思うんです。」

Q. 今後のビジョンは？

A. 「個人としては7haくらいまで拡大してみたいです。産地としては、「3ha以上経営体10戸確保」を目指して、みんなで頑張っていきたいですね。」



省力化、早期成園化を実現するジョイント栽培(1.1ha導入)

貴重なご意見を聞かせいただきありがとうございました。これからも農業経営者として地域を牽引されることをご期待いたします。

令和6年産水稻種子の休眠に注意してください！

令和6年産の水稻種子は、登熟期間の高温の影響で、例年より休眠がやや深い傾向にあり、出芽の遅れやばらつきが発生する可能性があります。そのため、浸種日数が通常より1日以上多く必要になる場合があります（表）。浸種が不十分な場合、その後の催芽・出芽での芽の揃いが悪くなってしまいます。さらに、浸種を高水温で行うと出芽がばらつくおそれがありますので、**浸種水温は10～15℃程度**としてください。

また、催芽の際にも例年よりハト胸状態になるまで時間がかかる可能性があります。**ハト胸程度になってから**播種するようにしてください（図）。

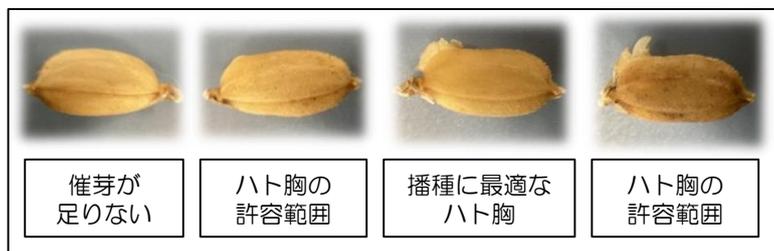


図 播種する際の催芽程度を目安

表 主要な品種の浸種を目安

品種	通常の浸種方法		令和6年産種子の浸種方法
	浸種積算温度	浸種日数 (水温10℃の場合)	
コシヒカリ ふくまるSL 一番星	120℃	12日間以上	種子の状態を確認し、必要に応じて左記の日数より1日以上多くする。
にじのきらめき	120～135℃	13日間以上	
ゆめひたち	110℃	11日間以上	
月の光 その他主食用品種	100℃	10日間以上	

※催芽が不十分だと、出芽に時間がかかることになり、保温中の病害（もみ枯細菌病など）が助長されるため注意してください。

※浸種、催芽の際には、こまめに種子の状態を確認してください。

ナシの栽培管理について(4～6月)

令和6年産のナシは、「幸水」の満開日が平年より2～3日遅くなりました。令和7年産のナシの開花時期については、3月から4月の気温に大きく左右されます。開花時期が早まっても問題の無いように、春先の管理作業を確認して早めの準備を心掛けましょう。

晩霜害の事前対策

- 防霜ファンや燃焼法の活用、多目的防災網の展張により、晩霜害軽減を図ります。
(効果：防霜ファン>燃焼法>多目的防災網)
- 多目的防災網は開花前に展張する(但し、降雪が予想される場合は果樹棚の倒壊を防ぐよう注意)。
- 下草は、日中の地温の上昇や夜間の土壌からの放熱を妨げ、園内の冷却を助長するため、伸びた場合は短く刈り込む。また、敷きわらを行う場合は霜害の危険が去ってから実施する。
- 土壌が乾燥しているときは、かん水を行い、土壌湿度を高める。

＜晩霜予測の気温の目安＞

{ 18時(午後6時)の気温が7～8℃
21時(午後9時)の気温が4～5℃

「恵水」の摘果

『「恵水」栽培管理マニュアル』より

摘果	時期	方法
予備摘果	満開後 30～40日	1果そう1果にする。
仕上げ摘果 (目標着果量)	満開後 60日以内	3果そう1果にする。 (側枝(短果枝部分)1mあたり6果※1) (成木で、樹冠面積1㎡あたり10果)
修正摘果 ※2	満開後 100日頃	目標とする収穫時階級の摘果基準に沿って小玉果の摘果を行う

※1) 樹体ジョイント仕立てや1株3樹植え1本主枝仕立て等の早成園化技術による栽培方法では、定植後早期に側枝本数を確保できるため、側枝1mあたり6果の最終着果量では着果過多となる可能性があるため注意する。

※2) 修正摘果は、小玉果の発生を少なくしたい場合に、産地の出荷目標等に合わせて実施を検討する。基準となる果実横径が大きい場合は、摘果量が増え、収量が減少する可能性があるため注意する。

令和6年度筑西地域プロジェクト実績発表会を開催

1月16日、筑西合同庁舎会議室にて、筑西地域プロジェクト実績発表会を開催し、管内農業後継者クラブ員や農業経営士、関係機関等49名が参加しました。

発表会では、管内農業後継者クラブ4団体の代表者が、各々取り組んできた課題について発表を行い、活発な質疑応答が行われました。

農業者代表等による厳正な審査の結果、「育苗トレイの違いがイチゴの生産性と経営に与える影響」を調査した、筑西4Hクラブ協和支部の杉本和吉さんが最優秀賞を獲得しました。杉本さんは、筑西地域代表として2月27日の県プロジェクト実績発表会に出場しました。

◎最優秀賞

「育苗トレイの違いが
イチゴの生育・収量に及ぼす影響」
筑西4Hクラブ協和支部 杉本 和吉 氏



プロジェクト活動発表者
(左から菊池氏、増淵氏、直井氏、杉本氏)

○優秀賞（発表順）

「「にじのきらめき」栽培方法の検討」
筑西4Hクラブ下館支部 直井 朋寛 氏
「ナシのせん定時の切り口の残し方の違いが
新梢発生に及ぼす影響」
筑西4Hクラブ関城支部 菊池 洸乃斗 氏
「除草剤混用処理による畦畔雑草防除の省力化」
大地のめぐみ 増淵 上総 氏

桜川市における令和7年産米生産に向けた説明会を開催

令和6年12月17日から令和7年2月7日にかけて、JA北つくばの桜川市の水稻生産者延べ約100名を対象に令和7年産米生産に向けた説明会が開催されました。

JA北つくばからは、米穀情勢や、輸出用米・加工用米を中心とした令和7年産米の動向、コメ新市場開拓等促進事業に係る申請などについての説明がありました。

当部門からは、令和6年産水稻作柄の概況、イネ縞葉枯病や斑点米カメムシ類対策、高温耐性品種「にじのきらめき」の高品質安定多収栽培方法について講習を行いました。

生産者からは、主食用米価格が高騰している中での輸出用米価格の動向についてや、「にじのきらめき」の移植適期や収穫適期についての質問などが多く出され、今後の米生産の動向への関心の高さがうかがえました。



お知らせ

農業気象災害等の技術対策

本県における春～梅雨時期に活用可能な農業技術対策が農業総合センターHPに掲載されています。

ご利用ください。



- 麦類栽培ほ場におけるカラスムギ防除技術マニュアル（令和6年5月掲載）
- 初夏の高温に対する技術対策について（令和6年5月1日掲載）
- 春先の気温変化に対する農作物管理について（令和6年3月11日更新）
- 梅雨時期の高温に対する技術対策について（令和5年6月16日更新）
- 麦類へのそば混入防止対策の徹底について（令和5年5月9日掲載）
- 4月に想定される気象災害対策について（令和5年4月7日掲載）
- 果樹類の晩霜・低温対策について（令和5年3月23日更新）
- 梅雨期の低温・長雨・日照不足による農作物への影響と対策について（令和4年6月3日更新）
- 降雹・突風・短時間の大雨に対する技術対策について（令和4年4月28日更新）
- 晩霜・低温対策について（令和4年4月1日更新）

筑西地域農業改良普及センターHP

農業に関する各種情報を掲載していますので、是非ご覧ください!!



県西農林公式Xフォロワー募集中!

県西農林事務所公式Xでは、魅力ある農林畜産業の情報を幅広くお届けしています。アカウントをフォローして最新の情報を受け取りましょう!

県西地域のこんな情報を発信しています!

- 農業・畜産業・林業及び農産物に関する情報
- イベントや各種取組情報
- その他のお知らせ

Xアカウント

茨城県県西農林事務所
@ibanishi_nourin

アクセスはこちら

